

教科 (科目)	外国語 (コミュニケーション英語 I)	単位数	4 単位	学年 (コース)	1 学年 (普通科・理数科)
使用教科書	Revised Element English Communication I (啓林館)				
副教材	Revised Element English Communication I WORKBOOK Advanced (啓林館) DataBase 1700, Data Base 3000 (桐原書店) HyperListening 3rd Edition Elementary (桐原書店) CROSSBEAM Elementary (エミル出版)				

1. 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

2. 指導の重点

- ① 予習⇒授業⇒復習のリズムを定着させ、自主的に学習を進める力を養う。
- ② 読解力の育成に努めるとともに、話し合いや意見交換を通してコミュニケーション能力を育成する活動を多く取り入れる。
- ③ 小テスト、課題などを継続的にを行い、文法や語彙の強化を目指す。

3. 学習計画 (「時間」の欄は授業時間 55 分を 1 時限とした時間数)

月	単元	教材	主要学習領域	内容	時間	評価方法
4	L.1	Rakugo in English	英語の 5 文型, to-不定詞と動名詞	・かい枝さんが落語表現を始めた経緯、英語落語を通じて学んだことを理解する。 ・かい枝さんから高校生に向けたメッセージを理解する。	5	課題考査 課題提出 表現活動
5	L.2	Christian the Lion	現在完了形, 受動態 分詞の限定用法	・ジョンとエースがクリスチャンとして暮らし始めた経緯と、ロンドンでの彼らの生活について理解する。 ・クリスチャンが野生に帰ることになった経緯を理解する。 ・クリスチャンと旧友との再会の場面をとらえる。	6	課題考査 課題提出 表現活動
6	L.3	Predictions of the Future	S+V+O (=疑問詞節・if 節) 関係代名詞	・アシモフ、クラーク、世界の科学者たちが未来を予言した内容について理解する。	6	課題考査 課題提出 表現活動
7 8	L.4 Further Reading1	Twice Bombed, Twice Survived The marshmallow Challenge	S+V+C (分詞) S+V (知覚・使役動詞)+O+C (原形不定詞・分詞) 過去完了形	・山口さんが最初、二度目の被ばくをした経緯を理解する。 ・山口さんが自らの経験を語った方法とその理由について理解する。	6	課題考査 課題提出 表現活動
9	L.5	Umami	助動詞+受動態 要求・提案などを表す動詞の that 節における動詞の原形、関係代名詞の what	・うま味とはどのようなものか、うま味の研究、うま味が健康にどのような影響を及ぼすかを理解する。	6	課題考査 課題提出 表現活動
10	L.6	The Story of PlayPumps	関係代名詞の非制限用法 形式主語の it	・プレイポンプの計画、なぜ失敗したかについて理解する。 ・プレイポンプの失敗から学べることを理解する。	6	課題考査 課題提出 表現活動
11	L.7	Biomimics	現在完了進行形 関係副詞 形式目的語	・バイオミメティクスとはどのような学問か理解する。 ・バイオミメティクスが活用された例について理解する。 ・バイオミメティクスと自然	6	課題考査 課題提出 表現活動

				保護の結びつきを理解する。		
12	L.8 Further Reading2	The Power of Presentation Bob: No Ordinary Cat	仮定法過去 仮定法過去完了	・2020 年東京オリンピック招致のプレゼンテーションにニックが協力することになった経緯を理解する。 ・3 人のプレゼンテーションの内容、よいプレゼンテーションとはどんなものかを理解する。	6	課題考査 課題提出 表現活動
1	L.9	Bopsy	仮定法を含む表現 (1)(2) seem(appear) to do	・ボブシーの夢はどのようなものかを司会する。 ・ボブシーの母親、ボブ、消防士たちがボブシーのために何をしたのかを理解する。 ・ボブシーの死の間際に起こったことを理解する。	6	課題考査 課題提出 表現活動
2	L10	Playing the Enemy	過去完了進行形 進行形の受動態 分詞構文	・南アフリカの黒人と白人が親密になるために、マンデラがスポーツを利用しようとした経緯を理解する。 ・スプリングボクスの選手たちが刑務所を訪れた際に起こったことを理解する。 ・南アフリカの人々の気持ちの変化を理解する。	6	課題考査 課題提出 表現活動
3	Further Reading3	Three Annes		・モンゴメリが「赤毛のアン」を執筆し、本が出版されるまでの経緯を理解する。	5	課題考査 課題提出 表現活動

4. 課題・提出物など

- ・朝学習、毎回の単語テストなどの実施や週末課題の提出を課します。
- ・考査ごとに課題としてのワークブックの提出を課します。

5. 評価規準と評価方法

次の4つの観点から評価します。

評価の観点・規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価方法	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応 ・定期考査、小テスト	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応 ・定期考査、小テスト	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応 ・定期考査、小テスト

以上の観点を踏まえ、総合的に評価する。

6. 担当者からの一言

高校の英語の授業は必ず自分で予習と復習をする必要があります。読む英文の量もどんどん増えていきます。たとえば、必要とされる単語数は中学校では3年間で1500語程度でしたが、高校ではその5倍以上です。まずは辞書の使い方に慣れ、自主的に勉強できる習慣をつけましょう。そして、様々な内容の文章を読むことで世界への目を広げるとともに、英語でのコミュニケーションの楽しさを感じてください。

教科(科目)	外国語 (英語表現Ⅰ)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年(普通科・理数科)
使用教科書	Vision Quest English Expression I Advanced (啓林館)				
副教材	Vision Quest English Expression I Advanced WorkBook (啓林館) Vision Quest 総合英語 Ultimate (啓林館)				

1. 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

2. 指導の重点

- ①リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどを注意しながら話させる。
- ②内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などを注意しながらまとめた英文を書かせる。
- ③発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習させ、実際に活用させていく。
- ④基本的な文法事項を中心に学習させ、習得した表現を使って英語で自己表現させる。

3. 学習計画 (「時間」の欄は授業時間 55 分を 1 時限とした時間数)

月	単元	教材	主要学習領域	内容	時間	評価方法
4	L.1	My name is Tanaka Kaito. Nice to meet you.	文の種類 平叙文、疑問文、命令文、感嘆文	紹介	5	課題考査 課題提出 表現活動
5	L.2	How did you get interested in Japan?	文型と動詞 5つの文型と There is 構文、自動詞、他動詞	興味・関心	6	課題考査 課題提出 表現活動
6	L.3	I'm planning to go to Nagano this summer.	時制 進行形、未来進行形	旅行	6	課題考査 課題提出 表現活動
7 8	L.4	Have you ever seen a live soccer game?	完了形 現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形、大過去、未来完了形	スポーツ	6	課題考査 課題提出 表現活動
9	L.5	Can you help me with this plate?	助動詞 used to do, 助動詞 + have + 過去分詞形, may/might を含む慣用表現	食事	6	課題考査 課題提出 表現活動
10	L.6	The Sapporo Lila Festival will be held next week.	受動態 進行形・完了形の受動態、SVOO, SVOC の受動態	観光	6	課題考査 課題提出 表現活動

11	L.7	Thank you for coming to my birthday party.	不定詞 SVO+原形不定詞、 不定詞の否定、進行形、受動態	交際	6	課題考査 課題提出 表現活動
12	L.8	How about going to a movie this afternoon?	動名詞 動名詞の意味上の主語、動名詞の否定形、動名詞の受動態	娯楽	6	課題考査 課題提出 表現活動
1	L.9	Rules are for everyone's comfort and safety	分詞 補語になる分詞、 知覚/使役動詞+O+ 過去分詞, 分詞構文	ルール	6	課題考査 課題提出 表現活動
2	L.10 L.11	A must-have item for those who run shops I believe everything has a positive side.	関係詞、関係副詞 複合関係代名詞/副詞 比較 比較を使った慣用表現	文化 社会問題	6	課題考査 課題提出 表現活動
3	L.12	I wish my father were more understanding.	仮定法 仮定法過去/過去完了、wish	悩み事	5	課題考査 課題提出 表現活動

4. 課題・提出物など

- ・各課の表現活動、例文の暗唱テストなどの実施や週末課題の提出を課します。
- ・授業内でパフォーマンステスト（Speaking Test など）を課します。
- ・考査ごとに課題としてのワークブックの提出を課します。

5. 評価規準と評価方法

次の4つの観点から評価します。

評価 の 観 点 ・ 規 準	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価 方法	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応 ・定期考査、小テスト	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応 ・定期考査、小テスト	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応 ・定期考査、小テスト
以上の観点を踏まえ、総合的に評価する。				

6. 担当者からの一言

知っている文法事項が増えていくと、より詳しく効果的に自己表現できるようになります。どのような場面や状況で使われるのかをいつも想像しながら語彙や文法を学習していくことが大切です。授業では予習で疑問に思ったことを確認し、どうしてその語句や文法を使うのかを考えましょう。また音読練習や自己表現活動などを積極的に行い、たくさんの英文を自分のものにしてください。

教科 (科目)	外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ)	単位数	4 単位	学年 (コース)	2 学年 (普通科・理数科)
使用教科書	Perspective English Communication II (第一学習社)				
副教材	Perspective コミュニケーション英語Ⅱ 生使用音声 CD (第一学習社) システム英単語 (駿台文庫) Listening Essentials 1.5、2.0 三訂版 (啓隆社) CROSSBEAM S1, S2 (エミル出版) Axel C, D (桐原書店)				

1. 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

2. 指導の重点

- ① 予習 ⇒ 授業 ⇒ 復習のリズムを定着させ、自主的に学習を進める力を養う。
- ② 読解力・発信力の育成に努めるとともに、話し合ったり意見を交換することでコミュニケーション能力を育成する活動を多く取り入れる。
- ③ 小テスト、週末課題テスト、パフォーマンステストなどを継続的に行い、文法や語彙の強化を目指す。

3. 学習計画 (「時間」の欄は授業時間 55 分を 1 時限とした時間数)

月	単元 教材	主要学習領域	内容	時間	評価方法
4	Lesson 1 A Hunger for Knowledge Lesson 2 Strike a Chord for Health	With ...などが条件を表す 仮定法 / 同格の that 未来完了形 / 完了動名詞	学ぶことへの意欲を捨て切れなかったウィリアム少年は、エネルギーについて独学し、風力で発電ができることを学ぶ。 音楽はいつでも身のまわりがあり、感情や健康にさまざまな効果をもたらす。	12	課題考査 小テスト 課題提出 表現活動
5	Lesson 3 Eating Up the Sea?	be to-不定詞 / 前置詞＋関係代名詞	刺身や寿司も国際的になった今、海洋資源は枯渇の危機に瀕している。	10	定期考査 小テスト 課題提出 表現活動
6	Lesson 4 Taro's Suns Look Toward World Peace	動名詞の意味上の主語 / 動名詞 (受動態)	岡本太郎の作品が発するメッセージは現在でも多くの人に影響を与えている。	12	定期考査 小テスト 課題提出 表現活動
7	Lesson 5 Amazing Tool Users	仮定法を含む表現 / 否定語＋倒置	動物が驚くべき道具使用をしている。中には使用法を次の世代に伝えているものもいる。	12	定期考査 小テスト 課題提出 表現活動
9	Lesson 6 Haiti's Mother Teresa	独立分詞構文 / 複合関係詞	80 歳を超えた今も、ハイチの人びとのために働き続ける須藤昭子。	12	課題考査 小テスト 課題提出 表現活動
10	Lesson 7 Machu Picchu — City in	完了形の分詞構文 / 主語が条件を表す仮定法	歴史学者ハイラム・ビンガムが約 100 年前に発見した	12	定期考査 小テスト

	the Clouds		「空中都市」マチュピチュ。 マチュピチュの遺物の所属 をめぐる問題も起きている。		課題提出 表現活動
11	Lesson 8 The Little Rock Nine	with+名詞+分詞 / 仮定 法現在	黒人女子生徒に向かって罵 声を浴びせる白人女子生徒 の 1 枚の写真から、過去 のある事件をひも解く。	12	定期考査 小テスト 課題提出 表現活動
12	Lesson 9 A Mission beyond Our Imagination	進行形（受動態） / 完了 不定詞	2010 年、小惑星探査機はや ぶさは旅を終え、地球に帰 還した。はやぶさのメカニ ズムとその軌跡を紹介す る。	12	定期考査 小テスト 課題提出 表現活動
1	Lesson 10 Is “Globish” a New Lingua Franca?	未来進行形 / 名詞や形容 詞ではじまる分詞構文	英語は現在、世界中で使わ れるようになっているが、 最近注目を集めているのが グロービッシュである。	12	課題考査 小テスト 課題提出 表現活動
2	R1 May I Have Your Autograph?	既習事項	ロック歌手「クレイグ・ザ・ キャット」の追っかけであ るウェンディがサインをも らおうと奮闘する。	12	定期考査 小テスト 課題提出 表現活動
3	R2 Reclaiming a Life from the Street	既習事項	トラックドライバーのやさ しさがホームレスの男性の 人生をよみがえらせる。	10	定期考査 小テスト 課題提出 表現活動

4. 課題・提出物など

各学期の表現活動、毎回の単語テストなどの実施や週末課題の提出を課します。

5. 評価規準と評価方法

次の 4 つの観点から評価します。

評価 の 観 点 ・ 規 準	コミュニケーションへの関 心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・ 理解
	コミュニケーションに関心を もち、積極的に言語活動を行 い、コミュニケーションを図 ろうとする。	外国語で話したり書いたりし て、情報や考えなどを適切に 伝えている。	外国語を聞いたり読んだりし て、情報や考えなどを的確に 理解している。	外国語の学習を通して、言語 やその運用についての知識を 身に付けているとともに、そ の背景にある文化などを理解 している。
評価 方法	・ペアワークやグループワー クなど学習活動への参加度 ・提出物の内容	・ペアワークやグループワー クなど学習活動への参加度 ・パフォーマンステスト ・定期考査、小テスト	・ペアワークやグループワー クなど学習活動への参加度 ・パフォーマンステスト ・定期考査、小テスト	・ペアワークやグループワー クなど学習活動への参加度 ・プレゼンテーション

6. 担当者からの一言

コミュニケーション英語 I など身につけた学習方法を基に以下の力を伸ばしましょう！

- ① 語彙学習を大切にし、使える英語を目指す。
- ② 様々な内容やジャンルの英語を読んだり聞いたりし、正確にかつ迅速に理解する力を高める。
- ③ 読んだり聞いた英語について、お互いの考えや意見を話したり書いたりできる発信力を高める。
- ④ 英語を通じて世界で起こっていることへの目を広げ、世界中の人とよりよい社会づくりをする。

教科(科目)	外国語 (英語表現Ⅱ)	単位数	2 単位	学年(コース)	2 学年(普通科・理数科)
使用教科書	Vision Quest II (啓林館)				
副教材	Zestar 総合英語 English Grammar in 27 Lessons (Z 会) Zestar 総合英語 (Z 会) Vintage 英文法・語法 (いっづな書店) Vintage Drive 実践問題集 (いっづな書店)				

1. 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。
--

2. 指導の重点

①リズムやイントネーション、話す速度、声の大きさなどの英語の音声的な特徴、内容の展開などに注意して話せるようになる。
②論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書けるようになる。また、書いた内容を読み返して推敲できるようになる。
③発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用できるようになる。
④相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合えるようになる。

3. 学習計画 (「時間」の欄は授業時間 55 分を 1 時限とした時間数)

月	単元 教材	言語材料	トピック	時間
4	L.17,18 分詞(1)(2)	分詞		2
	L.19-21 関係詞(1)～(3)、Plus	関係詞		3
5	L.22-23 比較(1)(2)、Plus	比較		2
	L.24-25 仮定法(1)(2)、Option 1	仮定法		3
	L.26-27 否定、時制の一致、話法	否定、時制の一致、話法		2
6	Option2-6 強調・名詞構文、無生物主語構文	強調・名詞構文、無生物主語構文		3
	Part 1 Lesson 1	主語の決定／見えない主語の発見／主語の it	お花見	2
	Lesson 2	主語になる名詞句／形式主語／無生物主語	漫画の楽しみ	2
7	Lesson 3	自動詞と他動詞／間違えやすい自動詞と他動詞／群動詞	京都へ観光に	2
	Lesson 4	SVO／SVOO	私の家族です	2
9	Lesson 5	SVC／SVOC	保育園での授業体験	2
	Lesson 6	使役動詞／知覚動詞	サプライズパーティー	2
	Lesson 7	直接話法と間接話法／間接話法で伝達	映画のお誘い	2

10	Lesson 8	「～する」／「～している」	航空管制官になる	2
	Lesson 9	「～した」／「～していた」	趣味はピアノ	2
	Lesson 10	能動態と受動態／日本語との違い	『タイタニック』を見て	2
11	Lesson 11	「もし(今)～ならば」／「もし(あの時)～だったなら」	世界遺産の魅力	2
	Lesson 12	義務・必要を表す助動詞／推量を表す助動詞	ボランティア活動	2
	Lesson 13	数量を表す語句／名詞を前から修飾する語句	制服に賛成？ 反対？	2
1	Lesson 14	名詞を後ろから修飾する①／②	ローマの魅力	2
	Lesson 15	関係代名詞／関係副詞	思い出の写真	2
	Lesson 16	副詞・副詞句／不定詞や分詞を使った副詞句	科学技術の利用	2
2	Lesson 17	副詞節①／②	携帯電話は便利だけど…	2
	Lesson 18	原級／比較級	犬派？ 猫派？	2
3	Lesson 19	最上級／最上級を意味する表現	思い出深いプレゼント	2
	Lesson 20	no＋名詞，noで始まる代名詞／部分否定／準否定	インターネットの問題点	2

4. 課題・提出物など

- ・各課の表現活動、例文の暗唱や英作文ノート、週末課題の提出を課します。
- ・授業内でパフォーマンステスト（Speaking Test など）を課します。

5. 評価規準と評価方法

次の4つの観点から評価します。

評価の観点・規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価方法	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・提出物の内容	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・エッセイライティング ・スピーチ ・定期考査、小テスト	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・インタビューテスト ・定期考査、小テスト	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・プレゼンテーション ・ディベート

6. 担当者からの一言

英語表現Ⅰなどで身につけた学習方法を基に以下の力を伸ばしましょう！

- ① 語彙、文法学習を大切にし、使える英語を目指す。
- ② 様々な状況で、自分が伝えたい内容を英語で話したり書いたりして伝えられるようになる。
- ③ スピーチ、プレゼンテーション、ディベートなどの方法を知り、わかりやすい英語で表現できるようになる。
- ④ 英語を通じて世界で起こっていることへの目を広げ、世界中の人とよりよい社会づくりをする。

教科 (科目)	外国語 (コミュニケーション英語Ⅲ)	単位数	6 単位	学年 (コース)	3 学年 (普通科文系)
使用教科書	ELEMENT English Communication III (啓林館)				
副教材	ELEMENT コミュニケーション英語Ⅲ生徒用音声 CD (啓林館) 夢をかなえる英単語 新ユメタン2 (アルク) Listening Essentials 2.0、2.5 三訂版 (啓隆社) Cutting Edge1, 2 (エミル出版) その他				

1. 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報 や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用 できるようにする。

2. 指導の重点

- ① これまで培ってきた英語力を駆使して、様々なトピックに関する大量の英文に触れる。
- ② 基本的に予習はせずに授業に臨むこととする。授業内で初見の文書等を理解し、復習では徹底した音読と重要表現等の定着を求める。
- ② 読解力・聴解力の育成に努めるとともに、話し合ったり意見を交換することでコミュニケーション能力を育成する活動を多く取れ、発信力を高める。
- ③ 小テスト (単語テスト、表現テスト)、パフォーマンステストなどを継続的に行う。
- ④ 「英語が自在に使える」ようになることを最終的な目標とする。

3. 学習計画 (「時間」の欄は授業時間 55 分を 1 時限とした時間数)

月	単元	教材	内容	時間	評価方法
4	L.1 L.2	A Small Crime How Can We Save Disappearing Languages?	〈物語・戦争〉壁に落書きをした少年に 父が語ったこととは 〈言語〉言語の消滅は何が悪い？	18	① 定期 考査 ② パフ オー マン ス テ ス ト ③ 課 題 提 出 ④ 表 現 活 動 ⑤ 小 テ ス ト
5	☆ L.3	Pros and Cons 1 Environment or Orangutans?	☆ディベート活動 〈環境・自然〉環境保護がオランウータンを減少させる？	12	
6	L.4 L.5 L.6	The Truth about Grit Praying Hands A Painting for His Life	〈心理〉「根性」の秘密 〈人間愛〉デューラーの「祈りの手」秘話 〈芸術〉贋作画家の命がけの証明	18	
7	L.7 ☆	A Class from Stanford University Pros and Cons 2	〈経済・エッセイ〉5ドルと2時間で何ができる？ ☆ディベート活動	18	
9	L.8 ☆ L.9	The Mpemba Effect Glamour of Grammar 1 Darwin and Wallace	〈科学〉沸騰したほうが早く凍る？ ☆間違いやすい文法の豆知識 〈生物・生き方〉進化論を考えた 2 人の科学者	18	
10	☆ L.10 L.11 ☆	Glamour of Grammar 2 Invisible Gorilla All the Good Things Glamour of Grammar 3	☆間違いやすい文法の豆知識 〈心理〉人間の知覚をめぐる幻想 〈学校・人間愛〉人生を支えた学校時代の思い出 ☆間違いやすい文法の豆知識	18	
11	PR1 PR2	A Candlelight within Us To You Who Will Live in the 21st Century	〈科学〉ロウソクの燃焼に関する科学の名講義 〈人生〉司馬遼太郎が 21 世紀を生きる若者に語り継ぐ思い	18	

12	Ch.1 Ch.3 Ch.5	「食事と CO2」 「企業と英語」 「労働搾取」	副教材を使用して、テーマ性の高い題材を深く、かつ目的に応じて読解する力を育成する。	18	
1	Ch.7 Ch.8 Ch.11	「火の制御とその効果」 「英語教育ロボット」 「選択肢の種類」		18	
2	Ch.13 Ch.15 Ch.17	「旧友からの電話」 「教育と報酬」 「睡眠の常識」		18	

4. 課題・提出物など

毎週の単語テストなどを実施し、ディクテーションの週末課題を課します。基本的には課題は課しませんが、定期考査ではサイドリーダーなどを試験範囲に入れますので、計画的に学習して下さい。

5. 評価規準と評価方法

次の4つの観点から評価します。

評価の観点・規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価方法	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・提出物の内容	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・音読テスト ・定期考査、小テスト	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・インタビューテスト ・定期考査、小テスト	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・プレゼンテーション

6. 担当者からの一言

コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱなどで身につけた学習方法を基に以下の力を伸ばしましょう！

- ① 語彙学習を大切にし、使える英語を目指す。
- ② 様々な内容やジャンルの英語を読んだり聞いたりし、正確にかつ迅速に理解する力を高める。
- ③ 読んだり聞いた英語について、お互いの考えや意見を話したり書いたりできる発信力を高める。
- ④ 英語を通じて世界で起こっていることへの目を広げ、世界中の人とよりよい社会づくりをする。

教科 (科目)	外国語 (コミュニケーション英語Ⅲ)	単位数	4 単位	学年 (コース)	3 学年 (普通科理系・理数科)
使用教科書	ELEMENT English Communication III (啓林館)				
副教材	ELEMENT コミュニケーション英語Ⅲ生徒用音声 CD (啓林館) 夢をかなえる英単語 新ユメタン2 (アルク) Listening Essentials 2.0、2.5 三訂版 (啓隆社) Cutting Edge1, 2 (エミル出版) その他				

1. 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報 や考 えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用 できるようにする。

2. 指導の重点

- ① これまで培ってきた英語力を駆使して、様々なトピックに関する大量の英文に触れる。
- ② 基本的に予習はせずに授業に臨むこととする。授業内で初見の文書等を理解し、復習では徹底した音読と重要表現等の定着を求める。
- ② 読解力・聴解力の育成に努めるとともに、話し合ったり意見を交換することでコミュニケーション能力を育成する活動を多く取れ、発信力を高める。
- ③ 小テスト (単語テスト、表現テスト)、パフォーマンステストなどを継続的に行う。
- ④ 「英語が自在に使える」ようになることを最終的な目標とする。

3. 学習計画 (「時間」の欄は授業時間 55 分を 1 時限とした時間数)

月	単元	教材	内容	時間	評価方法
4	L.1 L.2	A Small Crime How Can We Save Disappearing Languages?	〈物語・戦争〉壁に落書きをした少年に 父が語ったこととは 〈言語〉言語の消滅は何が悪い？	12	① 定期 考査 ② パフ オー マン ス テ ス ト ③ 課 題 提 出 ④ 表 現 活 動 ⑤ 小 テ ス ト
5	☆ L.3	Pros and Cons 1 Environment or Orangutans?	☆ディベート活動 〈環境・自然〉環境保護がオランウータンを減少させる？	8	
6	L.4 L.5 L.6	The Truth about Grit Praying Hands A Painting for His Life	〈心理〉「根性」の秘密 〈人間愛〉デューラーの「祈りの手」秘話 〈芸術〉贋作画家の命がけの証明	12	
7	L.7 ☆	A Class from Stanford University Pros and Cons 2	〈経済・エッセイ〉5ドルと2時間で何ができる？ ☆ディベート活動	12	
9	L.8 ☆ L.9	The Mpemba Effect Glamour of Grammar 1 Darwin and Wallace	〈科学〉沸騰したほうが早く凍る？ ☆間違いやすい文法の豆知識 〈生物・生き方〉進化論を考えた2人の科学者	12	
10	☆ L.10 L.11 ☆	Glamour of Grammar 2 Invisible Gorilla All the Good Things Glamour of Grammar 3	☆間違いやすい文法の豆知識 〈心理〉人間の知覚をめぐる幻想 〈学校・人間愛〉人生を支えた学校時代の思い出 ☆間違いやすい文法の豆知識	12	
11	PR1 PR2	A Candlelight within Us To You Who Will Live in the 21st Century	〈科学〉ろうソクの燃焼に関する科学の名講義 〈人生〉司馬遼太郎が21世紀を生きる若 者に語り継ぐ思い	12	

12	Ch.1 Ch.3 Ch.5	「食事と CO2」 「企業と英語」 「労働搾取」	副教材を使用して、テーマ性の高い題材を深く、かつ目的に応じて読解する力を育成する。	12	
1	Ch.7 Ch.8 Ch.11	「火の制御とその効果」 「英語教育ロボット」 「選択肢の種類」		12	
2	Ch.13 Ch.15 Ch.17	「旧友からの電話」 「教育と報酬」 「睡眠の常識」		12	

4. 課題・提出物など

毎週の単語テストなどを実施し、ディクテーションの週末課題を課します。基本的には課題は課しませんが、定期考査ではサイドリーダーなどを試験範囲に入れますので、計画的に学習して下さい。

5. 評価規準と評価方法

次の4つの観点から評価します。

評価 の 観 点 ・ 規 準	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価 方法	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・提出物の内容	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・音読テスト ・定期考査、小テスト	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・インタビューテスト ・定期考査、小テスト	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・プレゼンテーション

6. 担当者からの一言

コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱなどで身につけた学習方法を基に以下の力を伸ばしましょう！

- ① 語彙学習を大切にし、使える英語を目指す。
- ② 様々な内容やジャンルの英語を読んだり聞いたりし、正確にかつ迅速に理解する力を高める。
- ③ 読んだり聞いた英語について、お互いの考えや意見を話したり書いたりできる発信力を高める。
- ④ 英語を通じて世界で起こっていることへの目を広げ、世界中の人とよりよい社会づくりをする。

教科 (科目)	外国語 (英語表現Ⅱ)	単位数	2 単位	学年 (コース)	3 学年 (普通科・理数科)
使用教科書	New Favorite English Expression II (東京書籍)				
副教材	入試必携英作文 Write to the Point (数研出版) 英文法・語法問題 GRAMMARMASTER 改訂版 (Z 会出版) 新エスト総合英語 四訂版 (エスト出版)				

1. 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。
--

2. 指導の重点

①リズムやイントネーション、話す速度、声の大きさなどの英語の音声的な特徴、内容の展開などに注意して話せるようになる。
②論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書けるようになる。また、書いた内容を読み返して推敲できるようになる。
③発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用できるようになる。
④相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合えるようになる。

3. 学習計画 (「時間」の欄は授業時間 55 分を 1 時限とした時間数)

月	単元	教材	主要学習領域	内容	時間	評価方法
4	1 2	主語の決定(1) 主語の決定(2)	Few / Little/一般 you, Some ~, others...	「少ない」「増えている」等 一般論の主語	5	① 定期 考査 ② パフ オー マン ステ スト ③ 課 題 提出 ④ 表 現 活動 ⑤ 小 テ スト
5	3 4	目的の表現 理由の表現	in order to / so that ~, because ... / thanks to ~	「～するために」 「～のおかげで」	6	
6	5 6	時制 (1) 時制 (2)	be going to ~ 現在形	現在完了形と過去形 注意を要する時制の決定	6	
7	7 8	動詞の語法 関係詞	知覚動詞 / 使役動詞 which, where, what 他	SVOC 関係代名詞 / 関係副詞	8	
9	9 10	時間の表現 数字の表現	for the first time in ~years X before (after) ~	「～ぶりで」「～たてば」 量、年代、分数を表す表現	8	
10	11 12	仮定・条件の基本 仮定・条件の応用	仮定法過去、仮定法過去完了 Swish ~ / as if ~	現実か仮定か 様々な表現	8	
11	13 14	比較の基本 比較の応用	The 比較級, the 比較級 倍数表現他	比較の対象の決定 様々な表現	6	
12	15 16	譲歩の表現 重要表現(1)	However ~ / Even though (if) A be different from B in ~	「たとえ (どんなに) ~でも」 「同じ」「違う」	6	
1	17 18	重要表現(2) Sは～だ	It is not until ~ that SV It takes...to, It is...that SV	it を用いるものなど	6	
2	発展編	長文英作文 自由英作文	抽象的な日本語表現の英作文/ 思ひ出、好み、長所、 短所、社会問題論じる、日本について説明する、忠 告・助言、相談、手紙、創作、図表、道案内	頻出テーマと演習	5	

4. 課題・提出物など

- ・各課の表現活動、例文の暗唱テスト、文法小テストなどの実施や essay など課題の提出を課します。
- ・授業内でパフォーマンステスト（Speaking Test など）を課します。

5. 評価規準と評価方法

次の4つの観点から評価します。

評価の 観点・ 規 準	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価 方法	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・提出物の内容	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・エッセイライティング ・スピーチ ・定期考査、小テスト	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・インタビューテスト ・定期考査、小テスト	・ペアワークやグループワークなど学習活動への参加度 ・プレゼンテーション ・ディベート

6. 担当者からの一言

これまでの授業で身につけた学習方法を土台にして以下の力を伸ばしましょう！

- ① 語彙、文法学習を大切にし、使える英語を目指す。
- ② 様々な状況で、自分が伝えたい内容を英語で話したり書いたりして伝えられるようになる。
- ③ スピーチ、プレゼンテーション、ディベートなどの方法を知り、わかりやすい英語で表現できるようになる。
- ④ 英語を通じて世界で起こっていることへの目を広げ、世界中の人とよりよい社会づくりをする。

教科（科目）	外国語（SS英語I）	単位数	1	学年・系	第1学年理数科
使用準教科書	『All About Space』 『Cells And Microbes』（以上 OXFORD UNIVERSITY PRESS）				
補助教材等	担当者が適宜提示する				

1 学習目標

科学研究に必要な英語を重点的に学習することで、海外研究交流に必要な英語を理解したり、科学的なテーマに関する研究報告を英語で書いたり発表するための基礎的な能力を養うとともに、科学研究に関する英語での質疑応答や討論をするための基礎的能力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

2 指導の重点

英語で科学分野の内容を学ぶとともに、プレゼンテーションやレポートなど英語での表現活動をととして、海外で通用する英語コミュニケーション力の育成を目指す。

3 指導計画（「時間」の欄は授業時間55分を1時限とした時間数）

月	単元名	教材	学 習 内 容		時間	評 価 方 法
4月	科学英語の読解	All About Space 他	Introduction Our Solar System The Inner Planets The Outer Planets	太陽系の概要と内惑星・外惑星に関する英語表現を理解する。	3	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出物
5月					3	
6月					3	
7月	科学英語の読解と英語プレゼンテーション	All About Space 他	Introduction Our Solar System The Inner Planets The Outer Planets Rocks and Ice	小惑星帯と彗星に関する英語表現を理解する。 太陽系の惑星及び太陽についてグループで調べ、英語のポスターを作成し発表する。	3	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出物 ・発表 ・定期考査
8月					3	
9月					3	
10月	科学英語の読解と英語プレゼンテーション	All About Space 他	Astronomy Life on Other Planets People in Space Our Future in Space	天文学、他の惑星の生命体、宇宙分野に携わる人々、将来の宇宙に関する英語表現を理解する。 宇宙分野の調べ学習を英語により個人発表する。	4	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出物 ・発表
11月					3	
12月					3	
1月	科学実験と英語プレゼンテーション	担当者の指示による	炎色反応	多様な物質の炎色反応の実験を行い、その結果を記	3	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出物

2月				録する。 炎色反応で使 用した物質の 特徴について グループで調 べ、英語のス ライドを作成 し発表する。	2	・発表 ・定期考査
3月	科学英語の読 解	Cells And Microbes 他	Microbes	微生物に関する英 語表現を理解す る。	2	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出物

4 課題・提出物等

各項目毎の英文レポートや、プレゼンテーションなどが課題として出されます。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4つの観点から行います。

評価 の 観 点 ・ 規 準	科学分野とコミュニケーションへの 関心・意欲・態度	科学分野の英語表現 能力	科学分野の英語理解 能力	科学的問題認識・問題 解決 の知識・理解
	科学について英語 で学び、積極的に 英語でコミュニ ケーションを図 ろうとする。	科学分野で学んだこ とや調べたことを英 語で話したり書いた りして、情報や考え などを適切に伝えて いる。	英語で科学分野に関 する内容を聞いたり 読んだりして、情報 や考えなどを的確に 理解している。	英語による科学の学 習を通して、科学的 問題認識と問題解決 における英語の役割 を正しく理解し、英 語活用の適切な知識 や技術を身に付けて いる。
評価 方 法	・学習活動への参 加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対 応	・学習活動への参 加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対 応 ・定期考査、小テ スト	・学習活動への参 加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対 応 ・定期考査、小テ スト	・学習活動への参 加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対 応 ・定期考査、小テ スト

以上の観点を踏まえ、総合的に評価する。

6 担当者からの一言

英語による発表やレポートなど活動の内容が重視されます。積極的に授業に参加する意欲と態度が大切です。

数学・理科の内容を英語で学ぶことで世界の科学分野に目を広げるとともに、英語に触れる楽しさを感じてくれることを願っています。

平成29年度シラバス（外国語）

学番22 新潟県立新発田高等学校

教科（科目）	外国語（SS英語Ⅱ）	単位数	1	学年・系	第2学年理数科
使用準教科書	『Rainforests』『Life in rainforests』（OXFORD UNIVERSITY PRESS） 『Perspective English Communication I』（第一学習社）				
補助教材等	『高等学校 物理基礎』（第一学習社）『化学基礎』（数研出版）『生物基礎』（東京書籍） 『地学基礎』（東京書籍）『化学』（数研出版）『生物』（東京書籍） 『数学Ⅰ』『数学Ⅱ』『数学Ⅲ』『数学A』『数学B』（数研出版） 『高校 社会と情報』（実教出版） その他担当者が適宜提示する				

1 学習目標

科学研究に必要な英語を重点的に学習することで、海外研究交流に必要な英語を理解したり、科学的なテーマに関する研究報告を英語で書いたり発表するための基礎的な能力を養うとともに、科学研究に関する英語での質疑応答や討論をするための基礎的能力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

2 指導の重点

英語で数学、理科の内容を学ぶとともに、プレゼンテーションやレポートなど英語での表現活動をととして、海外で通用する英語コミュニケーション力の育成を目指す。

3 指導計画（「時間」の欄は授業時間55分を1時限とした時間数）

月	単元名	教材	学 習 内 容		時間	評価方法
4月	科学英語の読解	Rainforests 他	Rainforests	熱帯雨林に関する英語表現を理解する。	3	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出物
5月			Why rainforests are important People of the rainforests		3	
6月	科学英語の読解	Rainforests Life in Rainforests 他	Rainforest animals	熱帯雨林に関する英語表現を理解する。 SS探究Ⅰの課題研究のアウトラインと中間報告についてグループで英語のポスターを作成し発表準備（含プレゼン練習）をする。	3	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出物 ・定期考査
7月			Tropical Rainforests Plants Mammals		3	
8月 9月			Birds 課題研究英語ポスター作成 課題研究英語ポスター発表準備		4	
10月	英語プレゼンテーション	担当者の指示による	課題研究英語ポスター発表 マレーシア研修報告会英語ポスター作成 マレーシア研修報告会英語ポスター発表	マレーシア研修の訪問先である大学や高校で課題研究のアウトラインと中間報告を英語で発表する マレーシア研修報告会の英語スライドをグループで作成し発表をする。	3	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出物 ・発表 ・定期考査
11月					3	
12月					3	
1月	科学英語の読解	Rainforests 他	Disappearing forests	熱帯雨林に関する英語表現を理解する。 マレーシア研修で身につけた知識や経験も踏まえて熱帯雨林の保全や環境保護に関し英文レポートを作成する。 マレーシア研修を振り返り、学んだこと、今後の課題を英文レポートにまとめる。	3	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出物
2月			Protectors of the rainforests How you can help the rainforests		2	
3月					2	
	マレーシア研修総括					

4 課題・提出物等

各項目毎の英文レポートや、プレゼンテーションなどが課題として出されます。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4つの観点から行います。

評価の観点・規準	科学分野とコミュニケーションへの関心・意欲・態度	科学分野の英語表現能力	科学分野の英語理解能力	科学的問題認識・問題解決の知識・理解
評価の観点・規準	科学について英語で学び、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする。	科学分野で学んだことや調べたことを英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語で科学分野に関する内容を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語による科学の学習を通して、科学的問題認識と問題解決における英語の役割を正しく理解し、英語活用の適切な知識や技術を身に付けている。
評価方法	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応 ・定期考査、小テスト	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応 ・定期考査、小テスト	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応 ・定期考査、小テスト
以上の観点を踏まえ、総合的に評価する。				

6 担当者からの一言

英語による発表やレポートなど活動の内容が重視されます。積極的に授業に参加する意欲と態度が大切です。
数学・理科の内容を英語で学ぶことで世界の科学分野に目を広げるとともに、英語に触れる楽しさを感じられるように取り組んでくれることを願います。

平成29年度シラバス（外国語）

学番22

新潟県立新発田高等学校

教科（科目）	外国語（SS英語Ⅲ）	単位数	1	学年・系	第3学年理数科
使用準教科書	『Element English Communication I』 『Element English Communication II』（以上、啓林館）				
補助教材等	『高等学校 物理基礎』（第一学習社）、『化学基礎』（数研出版） 『生物基礎』（東京書籍）、『地学基礎』（東京書籍）、『化学』（数研出版） 『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ』、『数学Ⅲ』、『数学A』、『数学B』（数研出版） 『高校 社会と情報』（実教出版） 『スクエア最新図説生物』『スクエア最新図説化学』（第一学習社） その他担当が必要に応じて記事・論文等を提示する				

1 学習目標

科学研究に必要な英語を重点的に学習することで、海外研究交流に必要な英語の記事・論文などを読んで理解したり、科学的なテーマに関する研究報告を英語で書いたり発表するための基礎的な能力を養うとともに、科学研究に関する英語での質疑応答や討論をするための基礎的能力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

2 指導の重点

英語で数学、理科の内容を学ぶとともに、プレゼンテーションやレポートなど英語での表現活動をとおして、海外で通用する英語コミュニケーション力の育成を目指す。

3 指導計画（「時間」の欄は授業時間55分を1時限とした時間数）

月	授 業 計 画	学 習 内 容	時間	評価方法
4月	科学英語用語 科学技術に関する記事・論文読解 1	・物理・化学・生物・数学の専門用語の習得。 ・比較的短く平易な科学技術に関する記事や論文を読解し、訳述する。 ・やや長くより難解な科学技術に関する記事や論文を読解し、訳述する。	3	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出物
5月	科学技術に関する記事・論文読解 2		3	
6月	プレゼンテーション 英文要旨の作成	・SS探究Ⅰ・Ⅱで実施した課題研究の要旨を英文ポスターにまとめ、ポスターセッションで発表する。	3	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出物 ・発表 ・定期考査
7月	英文要旨のポスター作成 英文要旨のポスター発表		3	
8月			5	
9月				
10月	英文要旨ポスター発表審査	・審査のために英文要旨の内容や発表原稿の改良をする。質疑に対応できるように想定Q&Aを準備する ・SS探究Ⅰ・Ⅱで実施した課題研究の英語論文を作成する。 ・SS英語Ⅲの1年間の学習活動を振り返るとともに、1年次から継続してきたSS英語3年間を振り返り、学んだことや今後の課題を英文レポートにまとめる。	3	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出物 ・発表審査
11月	英語論文の作成		3	
12月			3	
1月			3	
2月			3	

4 課題・提出物等

各項目毎の英文レポートや、プレゼンテーションなどが課題として出されます。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4つの観点から行います。

評価の観点	科学分野とコミュニケーションへの関心・意欲・態度	科学分野の英語表現能力	科学分野の英語理解能力	科学的問題認識・問題解決の知識・理解
評価規準	科学について英語で学び、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする。	科学分野で学んだことや調べたことを英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語で科学分野に関する内容を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語による科学の学習を通して、科学的問題認識と問題解決における英語の役割を正しく理解し、英語活用の適切な知識や技術を身に付けている。
評価方法	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応 ・定期考査、小テスト	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応 ・定期考査、小テスト	・学習活動への参加状況 ・提出物の内容 ・質疑応答での対応 ・定期考査、小テスト

以上の観点を踏まえ、総合的に評価する。

6 担当者からの一言

英語による発表やレポートなど活動の内容が重視されます。積極的に授業に参加する意欲と態度が大切です。数学・理科の内容を英語で学ぶことで世界の科学分野に目を広げるとともに、英語に触れる楽しさを感じてくれることを願っています。